

# 普通期稲作情報 第2号

J A む な か た  
北筑前普及指導センター

## 1 気象と生育概況

宗像アメダスによると6月1日～7月15日の平均気温は平年より1.6℃高く、日照時間は平年比121%、降水量は平年比55%の高温多照で経過しました。

今年は、高温の影響で出穂もやや早まる可能性があります。

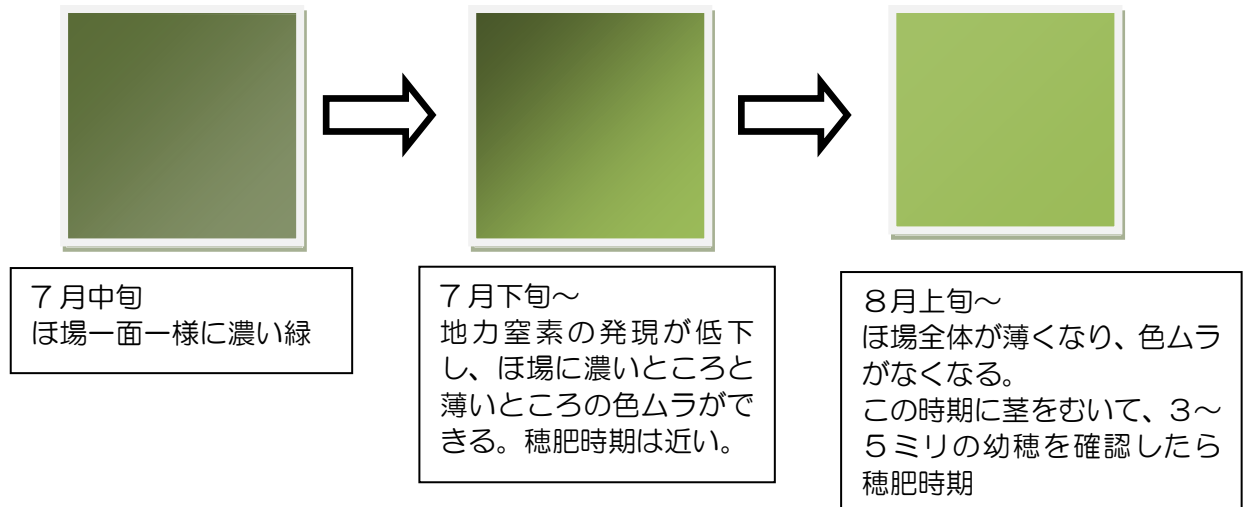
今後は以下の事に留意してほ場の管理を行いましょう。

## 2 水管理

6月中下旬植えの早生～中晩生品種は、間断かん水を実施し有効茎数(20本程度)が確保され次第、中干しを開始しましょう。ジャンボタニシ対策や水不足で田植後浅水～落水管理となったほ場は茎数が少ないため、中干しを弱めに行うか、中干しを行わずに茎数を確保しましょう。

## 3 穂肥

穂肥時期の決め方（6月20日移植のヒノヒカリの例）



品種別出穂期予想と穂肥時期（一般平坦地）

品 種	予想出穂期	穂肥 1 回目	穂肥 2 回目
夢つくし	8 / 8頃 (6 / 10植)	7 / 23頃	
つくしろまん	8 / 20頃 (6 / 20植)	8 / 1頃	
元気つくし	8 / 20頃 (6 / 20植)	8 / 1頃	1回目から7日後
ヒノヒカリ	8 / 27頃 (6 / 20植)	8 / 7頃	
ツクシホマレ	8 / 31頃 (6 / 20植)	8 / 8頃	1回目から7～10日後

○穂肥施用量は、稲作ごよみを参照してください。

#### 4 病害虫防除

県内のトビイロウンカの飛来は、6月7日と6月16日に確認されています。発生量は、平年よりやや少ない状況ですが、ほ場の発生状況に十分注意し、必要に応じて防除を行いましょ

<b>【要防除水準】トビイロウンカ：幼虫の合計数</b>
・飛来後第1世代(7月中旬～下旬)： 20頭/100株以上
・飛来後第2世代(8月中旬～下旬)： 100頭/100株以上

#### 補正防除（ウンカ類、コブノメイガ、カメムシ類）

※エクシードフロアブル・エクシード粉剤DLにはコブノメイガの登録はなし。

薬剤名	防除時期	散布量
キラップジョーカーフロアブル	収穫14日前まで	1000倍
エクシードフロアブル	収穫7日前まで	2000倍
エクシード粉剤DL	収穫7日前まで	3kg/10a

#### 補正防除（葉いもち）

薬剤名	防除時期	散布量
ビーム粉剤DL	発生初期 (収穫7日前まで)	3～4kg/10a
ノンブラスフロアブル	発生初期 (収穫7日前まで)	1000倍
コラトップ豆つぶ	葉いもち：初発10日前～初発時 穂いもち：出穂30日前～5日前まで	250g/10a

#### 5 斑点米カメムシ類の耕種的防除について

今年は、カメムシ類の発生量が多いため注意が必要です。

畦畔や休耕田のイネ科雑草・牧草等が発生源となりますので、出穂2週間前までに草刈りを行いましょ。

(※出穂直前になってから除草すると、雑草に生育していたカメムシを水田に追いやることになるので、逆効果となります)